

卷末附图説明

日本銀行小樽支店

小樽区色内町六十八番地

新築家屋概要

一 建物及建坪

本館 二百七十一坪

金庫及附属家 二百四十坪

一 基礎 根切深十四尺にして四尺のコンクリートより成る。

一 軒高 軒高地上より四十三尺。

一 壁 主として煉瓦積にして外側腰部及出入口廻りは備中

国北木島花崗石を使用す階下三尺二寸階上二尺八寸にして煉瓦壁の外はセメントモルタル塗を施す。

一 床及小屋 鉄構造にして事務室の床板は北海道産蝦夷松材を用い

リノリウムを敷き公衆溜及廊下の床は英国製アス

ファルト敷とす屋根はコンクリートを打ちたる上に垂

鉛鍍鉄板にて葺き塔屋は銅版を張る。

一 室内施工 天井は蝦夷松材を用い建具、窓入口枠及營業台は檜材

及チーク材を用いて施工し壁面は白色漆喰塗にして公

衆溜の腰羽目及階段室には赤坂産大理石を用う。

一 暖房 暖房用汽罐は低圧自動循環式にして汽罐は地下室に設

け放熱器は各室に一ヶ所又は数ヶ所を設置し嚴寒の候

に於て七十度の温度を保たしむ暖房装置は小林氏の

設計に成る。

一 電燈 電燈百九十二燈を設置す。

一 防火設備 窓にキニヤー式鉄扉を装置し且つ室内四ヶ所に消火栓

を設備す。

一 工事使用の重要材料

花崗石 七千六百三十切 備中国北木島産

大沼硬石 六千五百八十七切 渡島国大沼産

登別及札幌軟石 七千九百九十六切 胆振国登別産
石狩国石山村産

大理石 石 百五十八切 美濃国赤坂産

煉瓦 瓦 二百四十四萬八千五百本 大阪府下西成郡産
石狩国野幌産

ポートランドセメント 三千二百二十四樽 山口県小野田セメント会社
北海道セメント会社

火山灰 二千二百八十二樽 後志国余市産

生石灰 四千二百六十七俵 石狩国江別産

チーク材 百二十二立方尺

檜材 十四尺ノ

檜材 二百三十尺ノ

楯材 百〇四尺ノ

蝦夷松材 一千四百四十二尺

鉄材 四萬二千三百餘貫目 外国製品及内国製品

一使用職工及人夫数 六萬四千二百餘人

一起工及竣工 明治四十二年七月六日起工
同四十五年七月廿五日竣工

一工事期間 千百十五日

定期休業日数 四十九日

内 冬期休業日数 四百五十二日

實際施工日数 六百十四日

工学博士 辰野金吾

一設計者 工学士 長野宇平 治

工学士 岡田信一郎

一現場監督者 瀧村敬明

一工事請負者 東京 富樫文次